

かぜ 学光台の薰風

「あなたの革袋にわたしの涙を」

学院長・学長 楠本 史郎



苦しい時、祈ります。それでも辛いことはなくなりません。一生懸命生きているのに、辛いこと、苦しいことに出遭います。矛盾や不条理があります。なぜなのか、分からず、腑に落ちません。

それでも生きなければなりません。納得できなくても、歯を食いしばり、苦しみに耐え、頑張って生きていかなければなりません。人知れず涙を流しながら、こらえます。生きることは、そんなに厳しいものです。

けれども聖書は語ります。

「あなたはわたしの嘆きを数えられたはずです。あなたの記録に、それが載っているではありませんか。あなたの革袋にわたしの涙を蓄えてください。」詩編56編9節

神は人の呻き、嘆きを全て数え、書きとめておられます。涙を一滴残らず集め、革袋に溜めておられます。味わったどの悲しみも、忘れず、覚えていてくださいます。「あの時は大変だったね、辛かったね」と覚えておられます。

涙が地面にこぼれ、乾き、消えていきます。人には忘れられていきます。しかし神は、涙の小さな一滴も皮袋に溜め、覚えておられます。神には、悲しみを打ち明け、泣くことができます。だから、この不条理だらけの世界でも、生きていくことができます。

いや、神は御子イエス・キリストを送られました。罪を負わせ、十字架に付けて赦してくださいました。三日目に主を甦らせ、死の力を破られました。私たちを命に生かしてくださいます。

それは重大なことでした。神が、御子を十字架に付け、死へと引き渡されました。その時、全地が暗くなったといいます。神ご自身が深く嘆き悲しみ、大粒の涙を流されました。そして私たちをお救いになります。罪と死の暗闇から引き出し、命の光のなかを歩ませてくださいます。聖書は、そう告げています。

卒業した後、いつも順調だったわけではありません。辛くて、人知れず涙を流したことでしょう。けれども学院で聖書の言葉を聞きました。聖書は語ります。神は私たちの涙を一滴残らず皮袋に集め、覚えておられます。だから私たちはまた立ち上がることができます。聖書の言葉があります。それを聞き、感謝し、また歩み出しています。



2018年3月13日(火) 卒業証書・学位記授与式

第10回 北陸学院大学同窓会 富山支部総会開催のお知らせ

日 時：2019年4月13日(土) 10:30～14:00

場 所：富山県民会館(〒930-0006 富山市新総曲輪4番18号)8階

会 費：2,000円(自己負担額) (一部、同窓会より援助いたします)

申し込み(問い合わせ)：北陸学院大学同窓会事務局(金沢市三小牛町イ11 詳細は当会報8頁)

申し込み締め切り：2019年3月1日(金)

*富山県在住の方はもちろん、全国からどなたでもご出席ください。お待ちいたしております！

新任の先生紹介

子ども教育学科教授 村井万寿夫



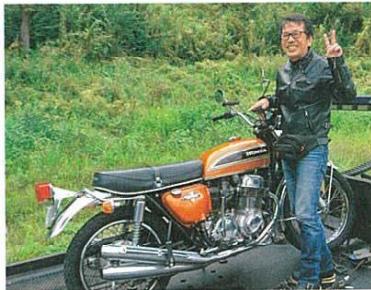
～新しい環境の下で～

この4月、子ども教育学科教員として赴任しました。通勤は自宅のある藤江から犀川沿いを通ります。今年は例年よりも桜の開花が早かったので4月当初から犀川河畔の桜は満開。毎日心うきうきしながらハンドルを握っていました。寺町を過ぎやがて自衛隊前を通ると、再び心うきうきになります。満開の桜並木が北陸学院大学へと案内しているように感じるからです。そして、三小牛の坂を上って大学に着くと、またしても心うきうきになります。白亜のキャンパスから望む峰々、眼下に見える町並み、周囲の早緑、小鳥のさえずり。これらに心うきうきになります。この環境は3月までの生活とがらりと変わるものです。

毎日行われるお昼の礼拝もそうです。私はこれまで自己の研究の一環として毎年何度か欧米の国々を行っています。滞在中は必ずと言ってよいほどその地にある教会を訪れます。キリスト教徒ではありませんが教会は今流で言うと“インスタ映え”するからです。このような経験のある私が本学のチャペルで礼拝に参加することになり、不思議な縁を感じています。それと同時に、お祈りすることにより、かつて祖父母が毎朝仏壇に手を合わせてお参りしていた気持ちが今になってようやく分かったような気がします。

所属大学が変わったことで、改めて学生の気持ちが分かったことも自分にとって大きな出来事です。教えることに慣れてきて学生の気持ちよりも教える側の気持ちばかりになっていた自分がいたことに気づきました。「村井先生の授業は楽しい。」と学生が言ってくれることに心うきうきの毎日です。瘦せ我慢でも背伸びでもなく、教えることは楽しいと再認識することができたことも新しい環境の下での生活の結果です。

4月から5月までの生活で幸せを感じることがいくつもありました。これから先どんな幸せを感じができるのかと思うと、またまた心うきうきしてきます。



社会学科 西尾祐美子



北陸学院大学同窓生の皆さん、はじめまして。今年度より着任いたしました、人間総合学部社会学科講師の西尾祐美子と申します。専門分野は、臨床心理学、発達心理学、特別支援教育です。これまで、幼児期から思春期の発達障害のあるお子さんのサポートおよび研究を行ってきました。障害の有無に関わらず、さまざまなお子さんと交流する中で日々驚きや新たな発見があり、むしろ、私の方が楽しみ、学ばせてもらうことが多いように感じています。本学は幼稚園から大学まで幅広い年代のお子さん、学生への教育に携わっていることから、今後一緒に学びを深められることを大変嬉しく思います。

本学では、心理学概論Aや心理療法、発達臨床心理学、心理学実験実習など心理学に関連する科目とあわせ、キャリアデザインや基礎ゼミなどの科目も担当しています。また、2018年度入学生より、新たに国家資格となった公認心理師に対応するカリキュラムがスタートしております。公認心理師は心理学に関する専門知識および技術をもって、心理状態の観察や分析、相談援助を行うスペシャリストとして期待されています。社会学科に過去最多の85名が入学した今年は、心理職を視野に入れて入学した学生も多く含まれます。大学での学びと現場での実践、将来の仕事を橋渡しできるような授業や研究に学生のみなさんと取り組んでいきたいと考えています。

本学は、石川県内・金沢市内出身の学生の割合が非常に高いことに驚きました。地元での就職を志す学生も多く、北陸・金沢という土地の魅力を日々感じさせられています。私は生まれも育ちも大阪ですので、土地勘がないどころか、言葉もなかなか関西弁が抜けません。が、この度ご縁をいただき本学に参りましたので、金沢という歴史ある町、伝統文化や豊かな食文化のことを知っていきたいです。金沢については、私より「先輩」である学生にも教えてもらひながら、金沢での新生活を充実させたいと思います。

新任の先生紹介

食物栄養学科 茶谷信一

この4月より食物栄養学科に参りました茶谷信一と申します。本学にこうして迎え入れて頂き心から喜んでおります。3月までは、金沢市泉野図書館におきましたが、それ以前は、37年間、小学校の教員として勤務して参りました。



「小学校教育の大きな目的の一つは、子どもたちに『自分は大人や社会から大切にされている』と実感させることである」教員になってしばらくの頃、ある研修会で聞いたことばに、私はそれまでのモヤモヤしたものがすっきりと晴れたような実感を持ちました。私の教師としてなすべき中身と方向が明確になり、大きな説得力をもって心に届いて参りました。

以来、このことばが私の教員生活の中心に置かれました。担任時代の学級だよりのタイトル「みんな大好き！」から始まって校長時代の学校経営の基盤「人は必ず大切にしなければならない・されなければならない」に至るまで、その時々の立場や状況によって言い方は様々でしたが、土台にあるものはいつも一つ、「大切にする・される実感」でした。事実、「大切にされた実感」がまた「人を大切にしていく」というスパイラルを、私は学校教育の中で何度も何度も見てきました。そしてそれは決して小学校教育だけの特典ではありませんでした。

この自明の理のごとき「スパイラル」を、この4月からは大学生にも伝えたいと心から願っています。私たちが神様から愛されているように、私も学生一人ひとりを大切にして参りたいと思っています。未熟な者ですが今後ともどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

コミュニティ文化学科 中谷博美



短期大学部コミュニティ文化学科の講師として着任いたしました中谷博美と申します。専門は、認知言語学・語用論です。認知(ものの捉え方)がどのように文法に反映されているのか、発話(何かを言うこと)が会話においてどのような意味を持つのかについて研究しています。研究の他には、教員として十年間、公立中学校で英語を教えていました。

研究生活の中で、一番の思い出は、初めて海外に一人で行き、英語で発表したことです。3年前の5月に、南フランスのグルノーブルという街を訪れました。ホテルでは鍵をなくし、降りる駅を間違えて乗継電車に乗れず、学会会場がわからず迷子になる、と教科書に出てくるような失敗の連続でした。しかし、どこに行っても助けてくれる人や話しかけてくれる人がいて、会話のきっかけにもなりました。間違えて降りた駅でアメリカ留学から帰る途中の学生と話した時や、アメリカでフランス語の先生をしている中国人の研究者と語学について話した時、海外で初対面の人と英語でコミュニケーションができた、と初めて実感できました。新しい「発見」と「出会い」が今も研究を続ける原動力となっています。

教員としての十年間でも、数えきれないほどの人と出会いました。中でも中学校教員として最後に担任していた生徒のことは、今も忘れられません。今年の4月に、当時中学2年生だったクラスの一人から、大学で英語を学ぶコースに進学したとの手紙をもらいました。さまざまなコミュニケーション・サービスが発達していますが、やはり、教え子から手紙をもらう、という体験は特別にうれしく、これからも「先生」と呼んでもらえるように頑張りたいと感じました。

自分が学び続けることで学習者として見本となるとともに、教員として本校の教育理念を実現させることができるよう誠心誠意努める所存です。どうぞよろしくお願ひいたします。



2年ゼミ生と

「北陸学院大学同窓会修学支援金」について

会長 相坂 国栄

第18回同窓会総会は5月26日(土)にレストランMEGUにおいて、豊かな恵みのうちに無事終了いたしました。ご来賓の方々、役員・回生委員、富山支部役員の方々、合計45名の出席でした。感謝をもってご報告申し上げます。詳細につきましては6~7頁をご覧ください。また、「奨学援助及び在学生支援資金」の献金のご報告を、下部にさせていただきました。ご芳志を深く感謝申し上げます。

今年度から、「北陸学院大学同窓会修学支援金規程」を制定施行いたしました。特別会計①「奨学援助及び在学生支援資金」の科目に「修学支援金」を追加しました。この対象者は児童養護施設等から入学した学生です。昨年11月に北陸中日新聞の記事になりましたので、ご存知の方もあるかと思います。また全国的にも里親や児童養護施設にいる高校生で学ぶ意欲のある人には高等教育をと、自治体の取り組みを、テレビなどでも取り上げています。

北陸学院大学には、「児童養護施設等奨学生」という制度があり、学納金の50%を貸与しています。現在、3名が在学しています。石川県内の他大学には同制度ではなく、全国的にも珍しい制度だと思います。同窓会には奨学金制度がありますが、この対象者は成績優秀で経済的に困難な学生であり、卒業年度の後期授業料の50%を同窓会が貸与する制度です。

授業終了後から夜遅くまでアルバイトをし、更に早朝から新聞配達をするなど、寝る時間を削って生活費や学費を稼いでいる在学生に、大学の「児童養護施設等奨学生」制度に合わせて、同窓会も何か支援ができないかと役員会で協議し、「修学支援」という形で始めることになりました。支援金額は継続するためには、現時点で多額は無理なのですが、学納金の一部として、年間5万円の支援及び卒業時の同窓会入会金(15,000円)の免除です。今後、運用してみて更に検討したいと思っています。この財源は、①蚤の市収益金、②総会・クリスマス会の礼拝献金、③同窓生による献金です。①、③共に近年は減少傾向にあります。特に③の同窓生による献金は、最初の頃は約200名の献金者により、100万円近くが奉げられていました。近年は残念ながら、大変少なくなっています。一口2,000円からです。皆さまの温かいご支援・ご協力を、心よりお願い申し上げます。

2017年度の「奨学援助及び在学生支援資金」の支出につきましては、例年の「クラブ活動援助金」及び「同窓会賞」の他に、大学4年生の方1名に奨学金150,000円(後期授業料の50%)を贈呈いたしました。以上、ご報告とお願いを申し上げます。

献金感謝報告 ご芳志を深く感謝申し上げます。

「奨学援助及び在学生支援資金」のための献金をお寄せ頂いた方々

(2017年4月~2018年3月)

小川 和子	保育4	宮本 美香	保育58	宮丸 慶子	食栄5	神戸 敏恵	英語14
齊藤 千代	保育4	菊住 恒子	栄専4	中村 喜代美	食栄9	村谷 美有紀	英語41
茶幡 昌子	保育12	相坂 国栄	栄専7	加藤 葉子	食栄11	横山 康子	教養1
川渕 映子	保育19	綱村 淑子	栄専7	敷波 智子	食栄38	寺口 良美	教養11
大浦 桂子	保育26	宮村 亜江	食栄1	高橋 富久子	英語4	匿名 2件	
東 正子	保育28	金子 量子	食栄4	野村 外美恵	英語4	町田 健一	前学長
三浦 みほ	保育43	高井 明子	食栄4	藤田 幸子	英語12		
同窓会総会席上献金		蚤の市売上金		同窓会クリスマス会席上献金			
富山支部総会席上献金		富山支部クリスマス会席上献金					

計 33件 総額 385,010円

ご芳名もれがりましたら、事務局までお知らせいただきますようお願い申し上げます。

同窓生一

谷 昌代さん(旧姓 小松)

1993年度卒業
保育学科(43回生)

私は今年の4月から、北陸学院大学子ども教育学科にて助教として勤務しています。

今から24年前、北陸学院短期大学の保育科で学び、神様の愛と祈りの中で諸先生方から子どもたちの魅力を多く教えていただき幼稚園教諭になりました。経験を重ねていくことで子どもの世界の奥深さを知り、また“慣れ”から「知っているつもり」「分かったつもり」が子どもとの距離を遠ざけてしまうものであることにも気づきました。その後は幼保小連携や遊びと学びの繋がりを学ぶべく大学へ編入学、横浜、金沢、富山にて現場復帰をし、大学院では幼児期の人間関係づくりに関する研究に取り組みました。目まぐるしく変化していく保育・教育界において常に課題意識を持ち、学び続けることの尊さを実感しています。様々な地域において共に保育に取り組んだ同僚や先生方、多くの子どもたちとの出会いは大きな支えとなっています。

家庭では3歳の息子の子育て中です!働く母親としてまだ不器用ですが、家族の健康が支えられ、学生の皆さんと共に学び合える日々に感謝して過ごしております。



沼田 美幸さん

1991年度卒業
英語学科(27回生)

早いもので、卒業して27年もの月日が流れようとしています。この間、2人の子供を育てながら仕事をし続けてきました。お陰で、職場での女性の在り方の変化を、間近で見続けてくることができました。先日、英語科卒業生ならきっと「懐かし〜あの時に戻りた〜い。」といわれるであろう、ウィットワースカレッジでの1ヶ月のアルバムを開いてみました。故・大隅恵子先生と手作りアイスクリームを手に、満面の笑みのツーショット写真がありました。学生時代は大隅先生の「女性の生き方」についての授業が多くあり、とても好きな時間でした。女性の人生って、選択の連續だと思いませんか?一つ一つ選択して歩み続けてきた私の人生も、まだ道半ばです。この度、同窓会副会長のお話をいただいた時、「三小牛の空気を吸いに来なさいよ。」と言われているような気がして引き受けさせていただきました。先輩方のご指導の下、これから2年間を楽しみたいと思います。



松田 美紀さん

2017年度卒業
社会学科

私は糸魚川市出身なのですが、大学3年時に、家が糸魚川市の大火の被害に遭ってしまいました。その際には北陸学院大学の関係者の皆様からたくさんのご支援をいただきました。遅くなりましたがこの場をお借りしてお礼を申し上げたいと思います。皆様のご支援のおかげで復興の目処が立ってきました。皆様の優しさに触れ、私も将来は困っている人に無条件で手を差し伸べる事のできる人物になりたいと思うようになりました。そのため周りへの感謝の気持ちを忘れないように心がけていきたいと考えています。



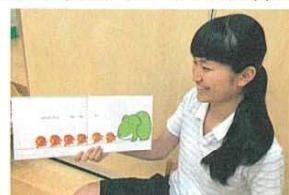
数馬 智子さん

2016年度卒業
幼児児童教育学科

北陸学院扇が丘幼稚園に勤めて2年目になりました。年少組の担任として、今年も子どもたちと新しい出会いがありました。

子ども達と過ごす中で私は常に、「この子たちは、何に興味があり、どんな遊びが好きなのかな。何が育とうとしているのだろう。どんなお手伝いを必要としているのかな」と考えるようになっています。そのような日々を過ごす中で、泣かずに登園出来たり、パンツとズボンを自分で上げられるようになったりなど、子ども達の成長と一緒に喜ぶことが出来る幸せを感じています。

ある日、小麦粉粘土を出すと、子ども達は「やりたーい!」とやってきて、粘土遊びを楽しんでいました。やりたい子が沢山いて粘土が行き渡らなくなってしまうと、一人のお友達が「私の分けてあげる!」と言ってくれたのをきっかけに、色々な子が「私も!」「僕も!」と粘土を分けてくれてくれました。そんな子どもたちの姿に、小さくてもお友達を思う心や、優しさに心を打たれました。私自身、まだまだ至らないところもありますが、神様が導いて下さったと信じて、子ども達と共に成長していきたいと思っています。



氏名		卒業学科		氏名		卒業学科		氏名		卒業学科	
【名誉会長】	楠本 史郎	北陸学院大学学長		坂野 和美	保育学科			吉田 若葉	保育学科		
【会長】	相坂 国榮	栄養専門学院		須田 雅美	食物栄養学科			高岡 美佐子	保育学科		
【副会長】	麥田 久世	保育学科		敷波 智子	食物栄養学科			新澤 桂恵	食物栄養学科		
沼田 美幸	英語学科			忠綱 美貴子	英語学科			吉國 厚子	食物栄養学科		
松本 紀子	教養学科			松本 かおり	英語学科			菱田 陽子	英語学科		
細井 将大	人間福祉学科			谷口 史恵	英語学科			橋 香	英語学科		
米村 茜	コミュニケーション文化学科			米村 佳子	教養学科			近岡 啓子	教養学科		
数馬 智子	幼児児童教育学科			西沢 歩美	人間福祉学科			馬場 裕美	教養学科		
奥出 朋子	社会福祉学科			江尻 紗花	コミュニケーション文化学科			鈴木 正美	教養学科		
【書記】	宮丸 慶子	食物栄養学科		真田 有基子	幼児児童教育学科			西田 裕子	教養学科		
戸井 康子	教養学科			堀内 未希	社会福祉学科			横江 悅子	教養学科		
【会計】	森田 康子	保育学科		木村 美智子	保育学科			一川 夕子	教養学科		
瀬戸 康代	食物栄養学科			中島 明美	保育学科			瀬戸 佳子	保育学科		
【庶務】	直江 希	保育学科		柏野 美雪	保育学科			安部 玲子	教養学科		
【常任幹事】	深元喜代子	保育学科									

2018年度 総会報告(富山支部)

総会プログラム

プログラム

第一部	13:00～13:30 受付
	13:30～14:00 礼拝
	14:00～14:30 総会

2018年4月14日(土) 13:30～15:30

於：富山鹿島町教会

出席者：19名

14:30～15:30 お茶の会

・懇談

2017年度 活動報告(2017.4.1～2018.3.31)

2017年4月22日(土) 第8回北陸学院大学同窓会富山支部総会
於：富山鹿島町教会 奨励：小堀康彦牧師
出席者：同窓生14名、本部3名、牧師1名

12月2日(土)
クリスマス会　於：富山鹿島町教会
奨励：小堀康彦牧師
出席者：同窓生18名、本部3名、牧師3名
ディジーパーティ会2名、ハンドベル10名

*この間に3回の役員会を開催
*バイブルクラス(DG会)毎月第4金曜日に開催

2018年度 活動計画(2018.4.1～2019.3.31)

2018年4月14日(土) 第9回 同窓会富山支部総会 PM 1:30～
於：富山鹿島町教会
奨励 小堀 康彦牧師

12月1日(土)
クリスマス会 PM 1:30～
於：富山鹿島町教会
奨励 坪内 克浩牧師

バイブルクラス(DG会) 月1回(毎月第4金曜日) 時間1:00～3:00
於富山YMCA(富山市堤町通り1-3-14)
を開催する。(8月は休会)※必要に応じて役員会をもつ。

2017年度 収支決算報告書 自2017年4月1日 至2018年3月31日 (単位：円)			
（収入の部）			
科 目	2017年度予算額	2017年度決算額	備 考
縁 越 金	13,643	13,643	
運 営 費	130,000	130,000	同窓会本部より
クリスマス会費	10,000	11,500	500円×23名
合 計	153,643	155,143	

2018年度 収支予算 自2018年4月1日 至2019年3月31日 (単位：円)			
（収入の部）			
科 目	2017年度決算額	2018年度予算額	備 考
前 年 度 縁 越 金	13,643	18,934	
運 営 費	130,000	130,000	同窓会本部より
クリスマス会費	11,500	12,000	500円×24名
合 計	155,143	160,934	

（支出の部）			
科 目	2017年度予算額	2017年度決算額	備 考
行 事 活 動 費	117,000	109,172	
総 会 費	22,000	19,168	
クリスマス会費	55,000	52,134	
バイブルクラス	10,000	10,000	会場費(DG会)
そ の 他 活 動 費	30,000	27,870	ハンドベル、本部訪問交通費
管 理 経 費	28,000	27,037	
通 信 費	18,000	16,763	葉書、祝電、その他
事 務 運 営 費	5,000	5,274	事務用品、印刷、用紙
会 議 費	5,000	5,000	役員会等
予 備 費	8,643	0	
次 年 度 縁 越 金		18,934	
合 计	153,643	155,143	

科 目	2017年度決算額	2018年度予算額	備 考
行 事 活 動 費	109,172	115,000	
総 会 費	19,168	20,000	
クリスマス会費	52,134	55,000	
バイブルクラス	10,000	10,000	会場費
そ の 他 活 動 費	27,870	30,000	コンサート、本部訪問補助等
管 理 経 費	27,037	32,000	
通 信 費	16,763	17,000	葉書、祝電、その他
事 務 運 営 費	5,274	5,000	事務用品、用紙、印刷
会 議 費	5,000	10,000	役員会等
予 備 費	0	13,934	
次 年 度 縁 越 金	18,934		
合 计	155,143	160,934	

上記決算は適正且つ正確に行われたことを認めます。
2018年3月23日

監査 山元孝子
監査 野田京子

2018年度 富山支部役員・学科担当者

【役員】	吉田 紀子 大房 和子 石田みどり 吉崎 優子 福江千英里 上田富士恵 吉川美紀子 会計監事 野田 京子 山元 孝子	栄養専門学院(10回生) 保育学科(22回生) 保育学科(18回生) 保育学科(19回生) 食物栄養学科(22回生) 食物栄養学科(5回生) 食物栄養学科(5回生) 保育学科(17回生) 保育学科(30回生)	【学科担当】(2018年3月現在)	小中 輝子(2回生) 竹川 博子(17回生) 川渕 映子(19回生) 辻川 恵子(24回生) 田中眞智子(26回生) 片岡菜穂子(29回生) 小杉 清恵(栄事9回生) 安田 慶子(4回生) 川崎 正子(5回生)	英語学科 社会福祉学科 幼児児童教育学科 コミュニケーション文化学科 中野 球子(1回生) 吉川 知子(4回生) 佐渡 和美(34回生) 神田美帆子(2010年度卒) 古木 文(2012年度卒) 中橋 美咲(2012年度卒) 島田 麻彩(2015年度卒) コミニティ文化学科 今後、お願いする予定
------	---	--	-------------------	---	--

大学・短大通信



北陸学院大学 北陸学院大学短期大学部

〒920-1396 金沢市三小牛町11 TEL 076-280-3850 FAX 076-280-3851

URL: <http://www.hokurikugakuin.ac.jp>

ヘッセル記念図書館は卒業生も利用できます！

◆卒業生もヘッセル記念図書館を利用できます！

住所を確認できるものをカウンターにお持ちください。

2018年度から卒業生の利用証発行手数料は無料となりました！5冊2週間の貸出ができます。

ヘッセル記念図書館OPACリニューアル

2018年度より北陸学院大学ヘッセル記念図書館のOPAC(蔵書検索)が新しくなりました。これまでできなかった、学外からの図書検索が可能となりました。

詳しくはヘッセル記念図書館(076-280-3852)までお尋ねください。

パソコン用 <https://opac.hokurikugakuin.ac.jp/>

スマートフォン用 <https://opac.hokurikugakuin.ac.jp/opac/mobile>

(※スマートフォン用は本の検索機能のみです)

◆オープンキャンパス&学校見学会

・オープンキャンパス日程

7月21日(土)	8月5日(日)
8月11日(祝・土)	8月18日(土)
9月24日(祝・月)	11月23日(祝・金)

・学校見学会

7月28日(土)	8月21日(火)
8月22日(水)	
10月20日(土)(栄光祭同日開催)	
12月8日(土)	

～同窓会よりお知らせ～

のま 蚤の市

2018年10月20日(土) 開催 (大学祭同時開催)

北陸学院大学 ライザー記念館にて 是非お友達と一緒に！

*献品のお願い 日用雑貨、小物、器、バッグ、新品の衣類、靴など その他 手作り品 大歓迎!!

*回生委員の皆さんへ お手伝いのお願い

献品の整理、当日の販売などご協力をよろしくお願ひいたします。

川渕映子さん(保育学科19回生)はNGO「アジア子どもの夢」代表として、東日本大震災をはじめ熊本地震その他ネパールなどのアジア各地で救援活動を行っておられます。今年も「蚤の市」に合せて支援物資を受付けております。衣類(クリーニング済)、日用雑貨などのご提供をお願いいたします。

クリスマス会

2018年12月8日(土) 午後1:30～
参加費 500円ご負担ください。

楽しいひととき 一緒に過ごしてみてはいかがでしょうか?ホームページも合わせてご覧ください。

バイブルクラスにもご参加ください。

①7月21日(土) ②11月17日(土)

③2月9日(土) 午後1:30～

参加費 300円ご負担ください。

◆教員の異動

退職

- ・町田健一(学長・子ども教育学科)
- ・中谷智一(食物栄養学科)
- ・戸田教一(子ども教育学科)
- ・村上吉春(食物栄養学科)
- ・朝倉秀之(子ども教育学科)
- ・畠山千穂(食物栄養学科)
- ・辻直人(子ども教育学科)
- ・林剛司(コミュニケーション文化学科)
- ・木島恒一(社会学科)
- ・クリスタル・ランキート(コミュニケーション文化学科)
- ・米田佐紀子(社会学科)

新任

- ・村井万寿夫(子ども教育学科 教授)
- ・澤田里香(食物栄養学科 助手)
- ・姫野俊幸(子ども教育学科 教授)
- ・中谷博美(コミュニケーション文化学科 講師)
- ・谷昌代(子ども教育学科 助教)
- ・蒼名理恵(コミュニケーション文化学科 助教)
- ・西尾祐美子(社会学科 講師)
- ・茶谷信一(食物栄養学科 教授)
- ・南雅則(食物栄養学科 教授)

『盆栽の松』について

「盆栽の松」の販売を継続しています。

1冊1,800円です。どうぞお買い求めください。
2017年度分報告(2017.4.1～2018.3.31)

同窓会事務局より

同窓会の活動に関するご質問・ご要望・ご提案などございましたら、どんなことでも同窓会事務局までお寄せください。

◇開室日:原則として毎週月・水・金曜日

◇開室時間:10:30～14:30

◇事務担当:直江 希(保育学科42回生)

住所変更等のご連絡について

- ①氏名(旧姓) ②卒業学科名、年度、回生
- ③郵便番号、住所 ④電話番号
- を明記の上、書面、ファックス、メールのいずれかでご連絡ください。
- 町村合併に伴う住所変更については追い追い更新しておりますが、なかなか手が回らない面もありますので、お気づきの点がございましたらご一報くださいますようお願いいたします。
- ※会員名簿については個人情報保護法に基づき、事務局で責任を持って管理しております。

■編集後記 日頃より同窓会にご協力いただき感謝いたします。

「栄光台の薰風第18号」完成いたしました。皆様のお手元に届けられ嬉しい思います。

原稿を寄せていただいた先生方をはじめ同窓生の皆さん、心より感謝申し上げます。

この会報をお読みいただき、感想なり、屈託のないご意見をお聞かせください。

今後の会報誌つくりに活かしてまいります。ご協力の程よろしくお願ひいたします。

編集委員:森田康子 濑戸康代 敷波智子

2018年7月1日発行

発行:北陸学院大学同窓会

〒920-1396 金沢市三小牛町11番地

ライザー記念館内

TEL&FAX 076-280-3830

E-mail: jcog@hokurikugakuin.ac.jp

URL: <http://www.hokurikugakuin.ac.jp>

印刷:能登印刷株式会社